

剣道部少女

ふたなり化改造

プラス無様エロ脳改造



科学部の部屋は
ここだろうか

急にすまない。

私を実験台に
してほしいんだ。
頼めるだろうか

緋

ようこそ
私が、科学部部长だ
君、少し汗臭いな
もしかして
部活申だったかな？

ああ、稽古申だった。

それが、突然
科学部の実験台に
なりたくくなってな。

何故かは分から
ないんだが

うんうん。

私の電波を受信して
暗示を植え付けられた
ということさ

まあ

気にしないでくれたまえ



この薬を
首筋に
注入すれば
いいんだな？

ところでこれは
何の薬なんだ？

んー？
おちんちん生やす薬だよ
それがどうかしたかな？

お、おちん…
い、いや、私は実験台に
なりたいからな
打たせてもらおう



え、あ……
そんなバカな
本当に、私に
おちんちんが……

実験成功だ
立派なモノが
生えたじゃないか

さすが剣道部主将
前に美術部の子を
使った時は身体が
耐えきれずに
壊れてしまったからね



んぐうオオ!?
やめてくれっ
おちんちんに指を
突っ込むな
グリグリしないで
くれっ
あっあんぎいい

感度良好だねえ

でも刺激には
慣れておいたほうが
いいんじゃないかな

君は
これから一生
おちんちん
ぶらさげて生きて
いくのだから



あ、あれ？
私、一生、
おちんちん……

なんで私、おちんちん
なんか……？

い、いや
実験台になり
たかったから
実験されて幸せ……
のはず……

あれ？いや、あ、あつあ？
なんでっ私っこんなあ！？
おちんちんなんてイヤアアア！

ちよつと！。

同意書も
書いてるんだから
いまさらブツブツ
言わないでよ

まるで私が
悪いみたいじゃないか

同意書
私は自らの身体を実験に
使用されることに同意します。
実験の結果、身体や脳に不可逆的
変化があっても異議の申し立ては
行いません。
絹織 愛彩



しようがない
脳を弄るから
動くなよ

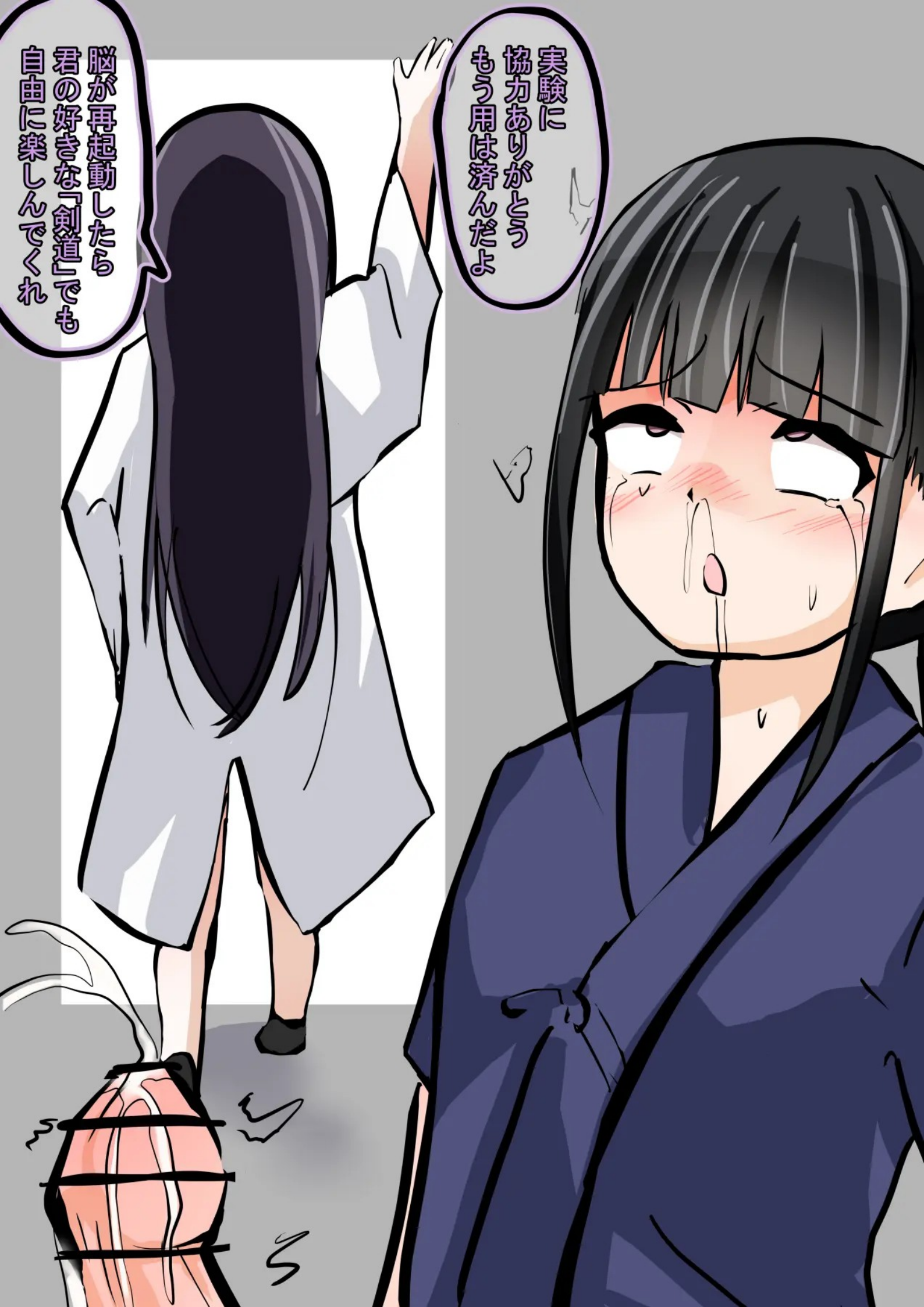
びびり

ここの神経を
掻き回して、
ここを
つなげて……

君の好きな
「剣道」と
「おちんちん」の
認識を混ぜてあげよう

そうすれば
そのおちんちんも
好きになれるさ





脳が再起動したら
君の好きな「剣道」でも
自由に楽しんでくれ

実験に
協力ありがとう
もう用は済んだよ

主将！
稽古中にどー行って
たんですか。
みんな……え？

すまなかつたな
剣道を再開するぞ

ん？
何をしている。さっさと
おちんちんを持って
シコシコ素振りの
練習をするぞ

主将っ
な、なにして
……

おちんちん



やはりおちんちんを
振るのは気持ちいいものだ

みんな、
さつきからどうした？

私のおちんちんと
打ち合う者はいないのか？

早くしてくれないと
射精してしまう



ねえ、聞いた？
剣道部の絹織さん……

聞いた、聞いた！
おかしくなったんだって？

なんか「剣道とはおちんちんだ」
とかいってちんちん振ってる
らしいよ

うえっ
気持ち悪っ

てか、絹織さんって
女だよな？

実はふたなり
だったんだってえー

ええ……
私、絹織さん憧れてた
のにシヨック

あんな変態
さっさと退学させて
くんないかなー



き、きさま
私に何をした？

実験台にしてもらった日から
変なんだ。
おちんちん振ってるだけ
なのに、みんな私を
変態と罵ってくる……

なあ、
私はどうなって
しまったんだ？
なにかおかしいのか？
貴様のせいなのか？

臭いおちんちん
押し付けないでくれ

どうせ君は身体も頭も
元には戻らない。
肉体的にも社会的にも
諦める

くそっ
やはり貴様のせいだ!?
私に何をしたんだ!?

話せ

そのマンコ犯してやるっ
くらえ、私のおちんちん!

んぐっ

なんてキツキツなマンコだ

だが、抵抗しても無駄だっ
私のおちんちんで
成敗してやるっ

んお

なかなか大きい...
子宮奥まで
突かれ...あぐっ

まったく.....

今使ってるこの身体、
気に入ってるんだから
壊さないでくれよ

